令和５年度　明倫小学校　現職教育研究計画

１　研究主題

自分の考えを表現し，
友達と伝え合うことで学びを深める子どもたちの育成を目指して
～ＩＣＴ機器の効果的な活用を通して～

２　主題設定の理由

令和３年度から校内のＩＣＴ環境が整備されたことにより，本校では「まずは使ってみよう」を合言葉に，教師側も児童側もＩＣＴ機器の活用機会を一気に増やしていった。教師は教材研究や学習指導の場で新たな機能を日々発見し，周囲の教師と情報を共有しながら活用場面を増やしていき，児童の新たな学習スタイルがおおよそ定着した。続く令和４年度は成長期と位置付け，前年度実践してきた活用場面がどのような学習効果をもたらしたのか検証し，より効果的な活用方法を探り，コミュニケーションツールとしてのＩＣＴ活用を確立していくことを中心に研究に取り組んだ。しかし，伝え合う場面でのＩＣＴ活用という考え方の下で進めた実践では，伝え合う活動の深まりまでは至らなかった。校内での検討会や外部講師からの助言も受け，伝え合う活動を深めるためには，個人の考えを明確にすることが重要であり，そのためのＩＣＴ活用を充実させることで，深い学びにつながるのではないかと考えた。

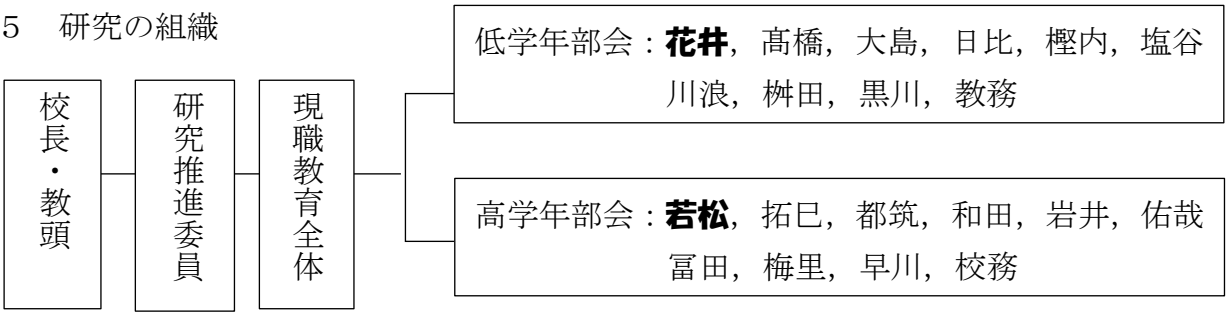
３　研究の計画

（令和３年度）導入期：とにかく使ってみよう！・・・さまざまな機能を知る
（令和４年度）成長期：考えて使おう！・・・学習効果を探りながら使う
（令和５年度）成熟期：意味のある使い方をしよう！・・・より深い学びのために使う

４　研究の仮説

・自分の考えを明確にすることで，自信をもって友達に伝えられるようになり，話し合い活動を通じて学びをより深めることができるだろう。
・自分の考えをまとめたり，表現したりする際にＩＣＴを活用することで，より明確な考えを見いだすことができるだろう。

5　研究の組織



6　研究の方法

（1）ＩＣＴ活用プランの活用

・低学年，中学年，高学年ごとにＩＣＴ活用目標を設定する。

（2）技能習得プランの作成

・毎週木曜日の朝活に実施

（3）ＩＣＴ支援員の活用

・１，２年：学期に１～２回以上，技術的サポートとして授業に呼ぶ

・３～６年：総合的な学習の時間におけるプログラミング学習を共同で計画。実際の授業にも数回Ｔ２として呼ぶ

（4）校内研修の充実

・「伝え合う場面」もしくは，「伝え合うための個人の考えをもつ場面」について公開授業を実施

・低・高学年部会で授業を参観（動画視聴も含む）し，月に１回協議会を実施

・授業と協議会の内容を現職便りで全体共有

・学期に２回程度，会議のない月曜日にＩＣＴに関する情報交換会や実技研修を実施

・公開１週間前には現職教育担当者（近藤か花井）と授業の流れや内容について話し合いの場をもち，月末に協議会を実施

（5）外部講師による研修

・外部講師による研修を実施（夏期，冬期）

（内容）ＩＣＴ活用，協働的で対話的な学び，言語表現活動，児童理解など

（6）学習環境の整備

（7）学習規律の確立

・教室環境，ノートのとり方，学習の決まりなどを，学年や部会（低・高）で統一し，学年ごとに積み上げられるようにする。

（8）振り返りシート

・学習の規律や，ＩＣＴ活用状況，学習の指導法などに関する項目についての振り返りを毎学期末に行う。

７　研究の年間計画

月	日	内容	備考
４	５ ５ １１	校内自主研修会 現職教育推進委員会 現職教育全体会 校内公開授業年間計画作成 モデル授業公開 現職教育全体会	学級開き研修 令和５年度全体計画の骨子検討 令和５年度全体計画の提案・検討 救命救急法
５		校内自主研修会 定例ＩＣＴ情報交換会 校内公開授業①	指導案の書き方研修 ＩＣＴ活用方法について情報交換 ※授業後に振り返りと検証
６	３０	定例ＩＣＴ情報交換会 校内公開授業② 学校訪問	※授業後に振り返りと検証
７		定例ＩＣＴ情報交換会 校内公開授業③ 現職全体会	※授業後に振り返りと検証 外部講師招聘
８		外部研修参加	
９		定例ＩＣＴ活用情報交換会 校内公開授業④⑤	※授業後に振り返りと検証
１０		定例ＩＣＴ活用情報交換 校内公開授業⑥⑦	※授業後に振り返りと検証
１１		定例ＩＣＴ活用情報交換会 校内公開授業⑧⑨	※授業後に振り返りと検証
１２		定例ＩＣＴ活用情報交換会 校内公開授業⑩ 現職教育全体会	※授業後に振り返りと検証 外部講師招聘
１		校内公開授業⑪⑫	※授業後に振り返りと検証
２	２０	現職教育全体会	今年度の振り返りと次年度の計画